平成31年度　バリアフリーの街づくりの県での取組みについて

資料５

１　条例の推進

* 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議

「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に基づく実効性のある取組みを進める

ため、神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議を通して、広く県民意見を収集し、それらを踏まえた取組みを検討して提案、発信するとともに、その取組みを検証する。

　また、第４期で見直しを行った提案書に基づき、提案内容に関する取組み事例を取りまとめた参考資料（「県民会議からの提案に関する参考資料」）の更新を検討する。

県民・事業者・行政がそれぞれの責務を踏まえ、協働して取組みを進めるとともに、バリアフリーの街づくりに向けた取組みを引き続き推進する。

＜第４期県民会議の概要＞

これまでの県民会議の取組みを継続しながら、第１期に取りまとめた提案書「みんなで創るバリア　　フリーの街づくり～県民会議からの提案～」に基づき、第３期まで実践、普及、検証を行ったため、それらの成果を総括し、提案書の見直しを行った。

２　バリアフリーの街づくりの普及啓発

1. 顕彰事業の実施（「神奈川県バリアフリー街づくり賞」）

障がい者、高齢者をはじめ、誰もが利用しやすいように配慮された施設整備（ハード部門）及びバリアフリーの街づくりに貢献する活動（ソフト部門）のうち、優れた取組みを表彰し、その普及啓発を図る。

＜平成30年度の実施概要＞

ハード部門で９件、ソフト部門で１件の応募があり、選考の結果、ハード部門で受賞者３件（８団体）、ソフト部門で受賞者1件（1団体）が受賞となった。

1. 保健福祉事務所が行う普及啓発事業

県内４圏域で、保健福祉事務所が中心となり、疑似体験装具などを活用するなど、体験型の事業展開を図りながら、バリアフリーの街づくりについてのイベントを実施する。

1. 建築士等を対象とした研修会の実施（横浜市、川崎市との連携）

建築士等を対象にバリアフリーの街づくりの理解を促進するための研修会を開催する。

＜平成30年度の実施概要（川崎市主催）＞

　　　　日時　 　平成31年２月25日（月）

　　　　場所　 　川崎市産業振興会館

　　　　出席者　 63名

　　　　　内容 　　〇「NO　MORE　バリアフル建築！」

　　　　　　　　　　　講師：大塚　訓平氏（株式会社オーリアル代表／NPO法人アクセシブルラボ代表理事）

　　　　　　　　　　 〇「2020までに、そして2020以降に」

　　　　　　　　　 　講師：本多　健氏（株式会社本多健建築設計室一級建築士事務所）

1. 県民会議による普及啓発

県民会議名でのホームページを通して、バリアフリーの街づくりについての情報提供や

先進・優良事例を紹介し、広く普及を図る。また、障がい者等の当事者団体や事業者・NPO団体、県民、行政の協働により、バリアフリーフェスタを開催する。

３　個別対策の推進

（１）　バリアフリーアドバイザーの派遣

　　　既存公共的施設のバリアフリー化を推進するため、一級建築士の資格を持つ建築士を改

修に意欲のある施設に派遣して、改修診断を行う。

＜平成30年度：５件実施＞

（２）　カラーバリアフリーの推進

ア　カラーバリアフリー講習会の実施

条例の施行規則にカラーバリアフリーを位置付けていることから、カラー

バリアフリーの普及啓発や適正な施行規則の運用を図る。

＜平成30年度の実施概要＞

地域福祉担当職員研修と合同開催することにより、相乗効果を図ることとしている。

日時　 　平成30年７月９日（月）

　　　　　場所　 　産業貿易センター

　　　　　出席者 　45名

イ　カラーバリアフリーアドバイザーの実施

公共的施設の案内板や、ポスター・チラシなどのカラーバリアフリー化を推進するた

め、色覚障がい当事者による相談事業を実施する。

＜平成30年度：７件実施＞